

綱 領

- 吾々は、社会正義に立脚した良識ある労働運動を通じて吾々の権利を守り、生活の安定と向上を期す。
- 吾々は、常に暴力と独裁を併し自由にしての健全なる発展を期す。
- 吾々は、赤十字の民主化と近代化を促進することによって、その人道的任務の達成に寄与する。

日赤新労

第76号
昭和52年
3月30日
発行

発行所
日本赤十字
新労働組合連合会
(日赤新労)
東京都港区西久保
広町35(成申ビル)
TEL 03-432-1089
発行責任者
佐藤一男

第16回定期大会ひらく

新年 度運動方針を決定 52年度予算も原案通りで



第16回定期大会会場風景

議長 辻 謙(大津日赤)
副議長 行本 昌平(岡山日赤)
書記 佐治 光則(名一日赤)
夏井 恒世(新労本部)
以上を選出して議に入る。

各議案を全会一致で決める

辻(大津)、行本(岡山)両氏を議長に

渥美、知多の両半島に抱かれた、暖冬涼夏のさわやかな場所、そして眼下に名勝三河湾を見おろす絶景の地、ここ三河ハイツにおいて、二月二十日から二十二日まで、三日間に亘り、第

決定事項概要次のとおり。

(1) 昭和52年度運動方針について……

・ 国内情勢と経済の動き

- ・ 日赤の現状
- ・ 第一号議案—生活向上と物価に見合う賃上げの獲得
- ・ 第二号議案—組織の強化拡大
- ・ 第三号議案—週休二日制の実現と時間短縮
- ・ 第四号議案—天下り人事の排斥と明らかな職場作り
- ・ 第五号議案—働く婦人と組合運動
- ・ 第六号議案—老後保障の充実
- ・ 第七号議案—福祉厚生施設の拡充
- ・ 第八号議案—保護所の新設
- ・ 以上議案は全会一致で承認された。

大会役員の構成

- 議事運営委員
佐藤 勝(大田原日赤)
早本 繁一(大津日赤)
池田ミドリ(今津日赤)
- 選挙管理委員
三浦 一(福島血セ)
- 役員監査委員
布渡 寛一(成岡日赤)

- 胸章、ハガキ戦術
- 施設長並びに支部長交渉
- 闘争実行連絡会の設置
- 単組におけるスト権の確立
- 本社集会を実施

- 生活向上と物価に見合う賃上げの獲得
- 組織の強化拡大
- 週休二日制の実現
- 時間短縮
- 天下り人事の排斥と明らかな職場作り
- 婦人活動の強化
- 老後保障の充実
- 福祉厚生施設の拡充
- 保養所の新設

五十二年度スローガン



大会宣言の朗読

大会宣言

日赤新労は、第十六回定期大会を二月二十日から二十三日の三日間に亘り、愛知県瀬戸郡幸田町「三河ハイツ」で開催した。

我われは昭和五十二年運動方針として生活維持向上のための賃上げ、福祉厚生施設の充実、明らかな職場作りなど八項目の

二月二十日
第十六回定期大会



52年度賃上げについて

川出中央執行委員長あいさつ

高度成長経済体制から低成長・中成長の減速経済体制へ、労働力の不足時代から過剰時代へ、そして労働人口の高齢化時代へと、わが国の賃金決定事情をめぐって、大きい課題になつてきている。要結せざるを得なかつた。昭和五十二年は、中立的労働運動が三月に決定するのを契機として、賃上げ率九%と見込み、その決定を見ながら各単組が四月十五日をメドにして次々に賃上げ率を加え、一五%としたい。但し、賃上げ率は一・五%の差を、私鉄総連においては自主交渉で別行動をとるといわれている。

日赤新労は、例年の如く人権を重んじ、国家公務員体系に準ずることとなり、春闘というよりも、人事院勧告が最大のヤマ場となる。従って日赤新労は物価に見合う賃金を勝ち取るには、組合員の団結と、強力なる団体交渉と、あらゆる手段をもって闘わなければならない。

公労協においては二〇%前後を決定しているが、何となく「IMRJ」即ち鉄鋼、電気、造船、自動車等の経営陣が、いかに春闘の相場を打ち出すかが注目されている。また、総評は読売新聞

新役員の プロフィール

会計 松本 晃氏

の組合員を一つにまとめるに
れた実績を持ちます。

「バイタリテイ」彼を語るに
最近な言葉であろう。堂々たる
の現象である。組合は初心に帰
体格、そして大胆で、かつ細心
な頭腦。――仕事は医師勤務
で、家庭は妻一人、息子一人
娘一人。組合(単組書記長と
すばらしい情熱。彼の人となり
を表わすにふさわしい多彩な趣
味。山登り、スキー、水泳、ボウ
リング、パチンコ、ゴルフ、
アルコール(近年とみに腕を上
げた)、読書、音楽鑑賞、カー
ルハント(どうかすると大衆等
のオプ・集めがほとんどを占め
?)等、気は優しく力持ち、
心憎いばかりの男である。
近年、労働組合は全面的に大
きな問題に直面している。即ち

「粘りがあって、しかも行動力
の伴った方」です。
昭和四十八年以來、当岡山単
組の組合長として、三百名から
今年度は、青山、副水両副執
行委員長が一度に退き、川出委
員長が大変な年ですが、しか
し、氏ならや委員長を助けて
いける人です。勤勉で、粘りが
あつて、しかも行動力のある方
であつて、他にはないからです。

執行委員 行本 昌平氏

今年度は、青山、副水両副執
行委員長が一度に退き、川出委
員長が大変な年ですが、しか
し、氏ならや委員長を助けて
いける人です。勤勉で、粘りが
あつて、しかも行動力のある方
であつて、他にはないからです。

52年度の 新執行部



執行委員
野沢リセ
(八戸赤十字病院)



中央執行委員長
川出富治
(名古屋第一赤十字病院)



執行委員
高橋利行
(福島赤十字病院)



副執行委員長
等々力重信
(愛知赤十字血液センター)



執行委員
行本昌平
(岡山赤十字病院)



副執行委員長
仙波紀親
(浜松赤十字病院)



会計監査
大向広治
(八戸赤十字病院)



書記長
佐藤一男
(宮城県支部)



会計監査
野見山淑夫
(筑前山田赤十字病院)



会 計
松本晃
(鳥取赤十字病院)



相談役
青山圭一
(岡山赤十字病院)



相談役
宮野政夫
(新潟赤十字血液センター)

本部役員解任 のごあいさつ

福永貞雄

このたびの第十六回日赤新
労定期大会の役員改選で、昭
和四十八年度から、昭和五十
一年度まで四年間に亘る本部
役員を解任することになりま
した。この間、私に寄せられ
た各単組組合員の皆様からの
ご支援、ご協力並びにご指導
ご鞭撻に対し心から感謝申し
上げる次第です。
これら幾多のご厚意に対し
ましても、私が微力ながら
故郷地方のご期待に充分にお
応えすることが出来なかつた
ですから……

このたびの第十六回日赤新
労定期大会の役員改選で、昭
和四十八年度から、昭和五十
一年度まで四年間に亘る本部
役員を解任することになりま
した。この間、私に寄せられ
た各単組組合員の皆様からの
ご支援、ご協力並びにご指導
ご鞭撻に対し心から感謝申し
上げる次第です。
これら幾多のご厚意に対し
ましても、私が微力ながら
故郷地方のご期待に充分にお
応えすることが出来なかつた
ですから……

新役員 の抱負

書記長 佐藤 一男

な書記長であつた私がその非力
を顧みず、去る二月二十日か
ら三月二十日まで愛知県豊田
市幸田町「三河ハイッ」で開催
された第十六回定期大会にお
いて、閣下も新本部の書記
長としての大任をお引き受け
て以来一カ年間、自分なりに担
うた努力を尽くしてきました。こ
れが、十分過ぎた方のご期待に
あつたが、十分過ぎた方のご期
待にこたへられず、無能力な
ため最善の努力を尽くすべく、茲に
この抱負を述べさせていただきます。

堅持しつつ、本大会で決定され
た二十五項に亘る切実なる組合
員の諸要求を獲得するには、真
に新本部、各単組組合員が一
丸となつて、凡ゆる手段方法を
尽して最大限の努力を尽くさな
ければ到底至難である、というこ
とは明らかである。
このような現状に鑑み、本大
会においては、強力な闘争方針
が決定されたものと判断し、こ
の決定事項に従つて今後は本部
各単組組合員が一丸となり、頑
固なる団結のもとに要求貫徹に
向つて邁進しなければならぬ
と思ひますし、今度こそ書記長
としての後継を十分に果たし、
組合員皆さん方のご期待に応え
るべく、最善を尽くす覚悟でござ
いますので、今後の絶大なご
協力をお願いいたします。

調査部長 等々力重信

52年度の調査部を担当するに
当たって第十六回定期大会にお
いて決定された運動方針及び、達成
すべき諸目標に向つて、組合員
の皆さんと共に心のかよつた調
査活動を推進して参りたいと思
ひます。
今更申し上げるまでもなく、

調査の基本が、組合活動をす
すめ、組合の中心に各単組の
活動を展開してゆかなくては
なりません。このこと
については、過去四四年間、組織部
の副部長として、また、昨年度
は組織部長として組織部長のた
めオルグ活動に参加して痛感し
ておる次第です。
さて、今年度の組織部活動の
方針としては、まず日本の全
国にわたる組合加入状況等の資
料を整理して、これを基に前
年度同様組織部を展覧する種
々の資料を得てオルグ活動を
展開して参りたいと思ひます。
共々、一方、本年度定期大会で
可決された組織部活動方針に従
い、既存組織の点検と内部の指
導強化を図り、特に本年度は幹
部研修会や初心者学習会を開催
し、改めて新本部の基本路線に
ついて勉強する機会を与え、更に
ブロック活動の充実を図り、更に
ブロック活動の充実を図り、更に
に組織強化対策委員会を設け
し、教育活動等と併行させるな
ど今後あらゆる方法手段を尽し
て新本部の強化拡大のため最
善の努力をいたして参りたいと
思ひますので、何分よろしく組
合員皆さん方の強力なご支援、
ご協力をお願いいたします。

会計監査 野見山淑夫

会計監査は今年度二回目
です。前回は組織で何とか無事努め
させていたと思いますが、今
度も何卒ご支援、ご鞭撻のほ
どをよろしくお願ひ申し上げ
ます。